

小学校外国語科 アクティビティ集 6年生

タイトル	Summer Vacation in the World. 夏休みの思い出を発表しよう。Enjoy Communication		
学年・実施時期	6学年 8・9月 第6時		
単元の目標 本時の目標	夏休みの記録メモを使って、夏休みの思い出を紹介することができる。思 夏休みの思い出について、記録メモを用いて自分の気持ちや考えを伝え合っている。思【※通常、本時の目標文末は、「～をする」で設定。「できる」とはしない。】		
単元の評価規準	知 思自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、自分たちの <u>夏休みの思い出を紹介すること</u> について、 <u>簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。</u> 【※下線部は、単元学習としての見取りのポイント!】		
活動の流れ	児童の活動	HRT の活動 ※形成的評価	ALT の活動
1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に挨拶をさせる。 T: <u>Good morning.</u> <u>How are you? I'm good!</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の後、“How are you?”など気分を尋ねる等など児童とコミュニケーションを図る。
2 ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> 歌を歌う。 Let's Sing <i>We love summer vacation.</i> チャンツを言う。 Let's Chant <i>Did you enjoy camping?</i> 	<ul style="list-style-type: none"> 歌の指示を出す。 T: Let's sing <u>We love summer vacation.</u> 慣れてきたら、カラオケ機能を使って歌わせる。 チャンツの指示を出す。 T: <u>Let's chant.</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の復習をする。【※左記のイタリック体について→固有名詞的な語句については、引用符の代わりに<u>イタリック体</u>で表示!】 言葉の復習をする。
3 コミュニケーション種 ・話すこと (発表) 【※本時では「発表」後に Q&A(やり取り)も無い故、単元の評価規準における「 <u>お互いに</u> 」の文言は削除しました。】	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに作った「夏休みの記録メモ」を使ってペアで練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを提示する。 夏休みの思い出を紹介しよう。 T: <u>Let's practice.</u> ALT とやり方を提示する。 T: <u>Watch and listen.</u> 話す時の工夫(表情やジェスチャーなど)や聞く時の心構え(思考力を働かせて相手の主な伝達内容を推測すること)を指示して練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【※左記の「めあて」が見取り(形成的評価)のポイントにもなります。】 ・HRT とやり方を提示する。 ・支援が必要な児童やペアの補助をする。 《指導の留意点》「聞き取り」において「語順」を意識することは困難です。音声言語は、川のように寸時に流れ去るからです。「読み書き」とは異なります。因みに、英語の談話(会話やスピーチ、インタビュー)では「具体的事柄は、トピック文の後に述べます。」この談話のルール
<p>発表例</p> <p>S: Hi, everyone.</p> <p>I went to Lake Biwa. It was large.</p> <p>I enjoyed fishing. It was exciting.</p> <p>Thank you for listening.</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> • 1人ずつ発表す 	<ul style="list-style-type: none"> • スピーチの指示を出す。 T: <u>Let's talk.</u> • クラスを2つに分け、1人ずつ発表させる。 • 1グループずつ HRT と ALT で支援をし、評価する。 	<p>に習熟すれば、英語に拠る「聞く力や発表力」はアップします!】</p> <ul style="list-style-type: none"> • スピーチの支援・評価を行う。 • スピーチの後、感想を言う。“Sounds nice!”など。
--	---	--	--

ALT も児童を評価してよいのでしょうか?→Yes! ※ALT による「形成的評価」情報も、「授業改善」や「総合的評価」に活かしましょう。

＜本単元で記録に残す「**形成的評価**」と「**査定基準**」＞
 ※本単元の**評価規準**：自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、自分たちの**夏休みの思い出を紹介すること**などについて、**簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝えている**。【**知** **技**、**思**・**判**・**表**】【※本単元の「記録に残す主な見取り」のポイントは、目標に示す通り**思**・**判**・**表**です。**知** **技**については、記録に残さなくても単元内の他の授業で見取りましょう!】
 ＜本時の**形成的評価**：**査定の基準**；下線部は**思**・**判**・**表**の見取りのポイント＞
基準 A:**夏休みの思い出**を、聞き手に伝わるように**具体例を挙げて分かり易く伝えている**。【十分に満足】
基準 B (評価規準):**夏休みの思い出**を、**ジェスチャー等を交えて 概ね、伝えている**。【概ね満足】
基準 C: **評価規準** (=全員の達成目標) **を満たしていない**。**HRT や ALT の支援を得ながら伝えている**。【努力を要する】

<ul style="list-style-type: none"> • 聞くこと 	<ul style="list-style-type: none"> • 代表児童の発表を聞く。 • 教科書 p.39 に話すときや聞くときの工夫や心構えを書く。 • 教科書 p.92 Quiz ④の答えの絵に○をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 各グループの中で、聞き手に伝わる工夫をしながら話していた児童を指名し、発表させる。 • スピーチの感想を言わせる。 • より良い聞き方ができた児童を称賛する。 T: <u>Everyone, good job!</u> • 聞くことの指示を出す。 T : <u>Open your textbook, p. 92. Listen and think.</u> • 語の中にある綴り字 a や e 	<ul style="list-style-type: none"> • これまで慣れ親しんだ p.92 の「始まりの音」(apple, <u>a</u>nt や egg, e<u>l</u>ephant) などの発音の
--	---	---	---

<p>4 まとめ・振り返り 【※評価規準との比較に拠る振り返りは、学習者自身の自省と更なる学習意欲(三つ目の柱)を育む好機です。】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りカードに評価規準と比較して自分の達成状況を書く。【※必ず比較させましょう！この作業こそが「学習評価」の第一歩です。】 	<p>の音に気付かせ、○を付けさせる。【※「単語」は世間用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 意欲的に活動できた児童を称賛する。【※「三つ目の柱(互いの学習意欲(粘り強さ)や協調性、人間関係力など)」を育みましょう！これらの非認知能力は「生きる力」の源泉です。】 	<p>しかたを想起させて、取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発表の仕方についてフィードバックを行う。
<p>5 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 児童に挨拶をさせる。 	